

平成27年度 高齢者虐待対応状況調査結果について

1 調査の概要

- (1) 当該調査は、厚生労働省老健局高齢者支援課からの依頼により、各市町村に照会した結果を取りまとめたものである。
- (2) 調査対象は、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの期間内に虐待の事実確認を行った件数等である。

2 調査結果の概要

(1) 家庭内虐待の状況

26年度中に通報等を受理し、事実確認調査が27年度となった9件を含む。

(単位：件)

区分		平成27年度(A)	平成26年度(B)	増減(A-B)	比率 (平成27年度)
相談・通報対応件数(件) (27年度中に通報等を受理した事例)		251 (242)	198 (195)	+53 (+47)	
1 相談・通報の状況	介護支援専門員	82	75	7	
	家族・親族	39	21	18	
	警察	29	24	5	
	被虐待者本人	26	24	2	
	介護保険事業所職員	22	17	5	
	民生委員	17	16	1	
	医療機関従事者	15	10	5	
	市町村行政職員	10	21	-11	
	近隣住民・知人	9	9	0	
	虐待者自身	5	2	3	
	不明(匿名を含む)	1	0	1	
	その他	16	13	3	
	計	271	232	39	
27年度中に通報等を受理した242件の内訳で、重複あり。					
事実確認の状況(件)	訪問	169	115	54	
	関係者からの情報収集	77	76	1	
	立入調査	3	5	-2	
	調査不要と判断	1	1	0	
	対応を検討中	1	1	0	
	計	251	198	53	
26年度中に通報等を受理し、事実確認調査が27年度となった9件を含む。					

区分		平成27年度(A)	平成26年度(B)	増減(A-B)	比率 (平成27年度)	
2 虐待の内容	1のうち虐待と判断した件数(件)	164	106	58	<p>男 18.7%</p> <p>女 81.3%</p> <p>1件の事例に対し、被虐待者が複数の場合があるため、上記164件と一致しない。</p>	
	性別虐待(人)の					
	男	31	19	12		
	女	135	89	46		
	不明	0	0	0		
	計	166	108	58		
	虐待の種類(件)				<p>身体的虐待 40.1%</p> <p>心理的虐待 31.7%</p> <p>経済的虐待 14.5%</p> <p>介護放棄等 11.1%</p> <p>性的虐待 2.7%</p> <p>27年度中に虐待と判断した166人の類型で、重複あり。</p>	
	身体的虐待	105	65	40		
	心理的虐待	83	52	31		
	経済的虐待	38	37	1		
介護放棄等	29	28	1			
性的虐待	7	2	5			
計	262	184	78			
3 被虐待者の状況	被虐待者の年齢(人)	65-69歳	16	3	13	<p>90歳以上 13.3%</p> <p>85-89歳 14.5%</p> <p>80-84歳 25.9%</p> <p>75-79歳 24.1%</p> <p>70-74歳 12.7%</p> <p>65-69歳 9.6%</p>
		70-74歳	21	13	8	
		75-79歳	40	24	16	
		80-84歳	43	24	19	
		85-89歳	24	29	-5	
		90歳以上	22	15	7	
		不明	0	0	0	
		計	166	108	58	
	被虐待者の介護保険の申請(人)	認定済み	116	80	36	<p>認定済み 69.9%</p> <p>未申請 24.7%</p> <p>申請中 4.8%</p> <p>認定非該当(自立) 0.6%</p>
		未申請	41	24	17	
		申請中	8	3	5	
		認定非該当(自立)	1	1	0	
		不明	0	0	0	
		計	166	108	58	
	介護保険認定済者の要介護度(人)	要支援1	16	7	9	<p>要支援1 13.8%</p> <p>要支援2 16.4%</p> <p>要介護1 19.8%</p> <p>要介護2 19.0%</p> <p>要介護3 17.2%</p> <p>要介護4 9.5%</p> <p>要介護5 4.3%</p>
		要支援2	19	8	11	
		要介護1	23	15	8	
		要介護2	22	24	-2	
要介護3		20	12	8		
要介護4		11	10	1		
要介護5		5	4	1		
不明		0	0	0		
計		116	80	36		

		区分	平成27年度(A)	平成26年度(B)	増減(A-B)	比率 (平成27年度)
3	介護保険認定済者の認知症日常生活自立度(人)	自立又は認知症なし	16	6	10	<p>認知症はあるが自立度不明 2.6%</p> <p>認知症の有無が不明 1.7%</p> <p>自立又は認知症なし 13.8%</p> <p>自立度 I 25.9%</p> <p>自立度 II 33.6%</p> <p>自立度 III 17.2%</p> <p>自立度 IV 5.2%</p> <p>自立度 M 0.0%</p> <p>日常生活を送るために何らかの見守りを必要とする方 (自立度 II～M 計65人(56.0%))</p>
		自立度 I	30	11	19	
		自立度 II	39	34	5	
		自立度 III	20	19	1	
		自立度 IV	6	7	-1	
		自立度 M	0	0	0	
		認知症はあるが自立度不明	3	2	1	
		認知症の有無が不明	2	1	1	
		計	116	80	36	
		4	虐待者との同居・別居(人)	虐待者と同居	93	
虐待者及び他家族と同居	49			38	11	
虐待者と別居	23			14	9	
その他	1			2	-1	
不明	0			0	0	
計	166			108	58	
世帯	世帯構成(人)	未婚の子と同居	48	27	21	<p>未婚の子と同居 28.9%</p> <p>配偶者と離別・死別等した子と同居 20.5%</p> <p>夫婦のみ世帯 19.3%</p> <p>その他①(その他の親族と同居) 10.2%</p> <p>単独世帯 9.0%</p> <p>その他③(他の選択肢に該当しない場合) 5.4%</p> <p>子夫婦と同居 4.8%</p> <p>その他②(非親族と同居) 0.6%</p> <p>不明 0.6%</p>
		配偶者と離別・死別等した子と同居	34	12	22	
		夫婦のみ世帯	32	19	13	
		その他①(その他の親族と同居)	17	15	2	
		単独世帯	15	10	5	
		その他③(他の選択肢に該当しない場合)	9	10	-1	
		子夫婦と同居	8	14	-6	
		その他②(非親族と同居)	1	1	0	
		不明	2	0	2	
		計	166	108	58	
5	虐待者の状況(人)	息子	68	44	24	<p>息子 38.0%</p> <p>娘 22.3%</p> <p>夫 19.6%</p> <p>兄弟姉妹 5.0%</p> <p>息子の配偶者(嫁) 2.8%</p> <p>妻 2.8%</p> <p>孫 2.2%</p> <p>娘の配偶者(婿) 0.0%</p> <p>その他 7.3%</p>
		娘	40	22	18	
		夫	35	18	17	
		兄弟姉妹	9	4	5	
		息子の配偶者(嫁)	5	9	-4	
		妻	5	6	-1	
		孫	4	3	1	
		娘の配偶者(婿)	0	0	0	
		不明	0	1	-1	
		その他	13	12	1	
計	179	119	60			

区分		平成27年度(A)	平成26年度(B)	増減(A-B)	比率 (平成27年度)
分離の有無 (人)	虐待者と被虐待者を分離	83	46	37	<p>虐待者と被虐待者を分離 44.9%</p> <p>その他(虐待判断時点で既に分離等) 42.7%</p> <p>対応を検討中 0.5%</p> <p>虐待者と被虐待者を非分離 11.9%</p>
	虐待者と被虐待者を非分離	79	51	28	
	対応を検討中	1	4	-3	
	その他(虐待判断時点で既に分離等)	22	24	-2	
	計	185	125	60	
26年度中に虐待と判断した事例で対応が27年度となった19人を含む。					
上記のうち分離の内訳 (人)	契約による介護保険サービスの利用	20	14	6	<p>契約による介護保険サービスの利用 24.1%</p> <p>医療機関への一時入院 22.9%</p> <p>その他(上記以外の施設利用、転居等) 30.1%</p> <p>老人福祉法に基づくやむを得ない事由等による措置 19.3%</p> <p>緊急一時保護 3.6%</p>
	医療機関への一時入院	19	10	9	
	老人福祉法に基づくやむを得ない事由等による措置	16	5	11	
	緊急一時保護	3	5	-2	
	その他(上記以外の施設利用、転居等)	25	12	13	
	計	83	46	37	
対応状況 上記のうち非分離の内訳 (人)	養護者に対する助言・指導	51	30	21	<p>養護者に対する助言・指導 39.8%</p> <p>既に介護保険サービスを受けているが、ケアプランを見直し 18.0%</p> <p>その他 18.0%</p> <p>経過観察(見守り) 12.5%</p> <p>被虐待者が介護保険サービスを利用 6.3%</p> <p>養護者が介護負担軽減のために事業に参加 3.1%</p> <p>被虐待者が介護保険サービスを利用 2.3%</p>
	既に介護保険サービスを受けているが、ケアプランを見直し	23	13	10	
	経過観察(見守り)	16	16	0	
	被虐待者が介護保険サービスを新たに利用	8	6	2	
	養護者が介護負担軽減のために事業に参加	4	1	3	
	被虐待者が介護保険サービス以外のサービスを利用	3	2	1	
	その他	23	6	17	
	計	128	74	54	
非分離79人の内訳で、重複あり。					
成年後見制度の利用状況 (人)	成年後見制度利用開始済み	3	5	-2	<p>成年後見制度利用開始済み 37.5%</p> <p>成年後見制度利用手続き中 62.5%</p>
	成年後見制度利用手続き中	5	1	4	
	計	8	6	2	
	(8人の内数)市町村長申立あり	2	4	-2	
	( " )市町村長申立なし	6	2	4	
日常生活自立支援事業利用開始 (人)	4	3	1	27年度中の対応合計人数185人の利用状況	

(2) 施設内虐待の状況

① 虐待の件数 7件

② 虐待の状況

事 項	ケース1	ケース2
① 被虐待者の状況	女性 90代 要介護3	女性 100代 要介護5
② 虐待の類型	身体的虐待	身体的虐待
③ 虐待に対して とった措置	・施設等に対する指導 ・改善計画の提出	・施設等に対する指導 ・改善計画の提出
④ 虐待を行った施設等 のサービス種別	訪問介護等	介護老人福祉施設
⑤ 虐待を行った 従事者等の職種	介護職員	介護職員

事 項	ケース3	ケース4
① 被虐待者の状況	女性 65未満 要介護5	女性 60代 要介護3
② 虐待の類型	心理的虐待, 介護等放棄	身体的虐待, 心理的虐待
③ 虐待に対して とった措置	・施設等に対する指導 ・改善計画の提出	・施設等に対する指導 ・改善計画の提出
④ 虐待を行った施設等 のサービス種別	有料老人ホーム	有料老人ホーム
⑤ 虐待を行った 従事者等の職種	介護職員	介護職員

事 項	ケース5	ケース6
① 被虐待者の状況	男性 80代 要介護3	女性 90代 要介護3 女性 80代 要介護3
② 虐待の類型	身体的虐待	身体的虐待, 心理的虐待 //
③ 虐待に対して とった措置	・施設等に対する指導 ・虐待を行った養介護施設 従事者への注意・指導	・施設等に対する指導 ・虐待を行った養介護施設 従事者への注意・指導
④ 虐待を行った施設等 のサービス種別	介護老人福祉施設	介護老人福祉施設
⑤ 虐待を行った 従事者等の職種	介護職員	介護職員

事 項	ケース7
① 被虐待者の状況	女性 90代 要介護4 男性 70代 要介護5
② 虐待の類型	身体的虐待, 介護等放棄 身体的虐待
③ 虐待に対して とった措置	・施設等に対する指導 ・改善計画の提出 ・介護保険法に基づく改善勧告
④ 虐待を行った施設等 のサービス種別	介護老人保健施設
⑤ 虐待を行った 従事者等の職種	介護職員

(集計結果概要)		
被虐待者の性別	女性	7人
	男性	2人
	計	9人
虐待の類型区分 (9人の類型で重複あり)	身体的虐待	8件
	心理的虐待	4件
	介護等放棄	2件
	計	14件
施設の種別	介護老人福祉施設	3件
	有料老人ホーム	2件
	訪問介護等	1件
	介護老人保健施設	1件
	計	7件

※ 調査対象者: 65歳以上の高齢者及び65歳未満で養介護施設・事業所を利用する障害者

(参考)

- (1) 市町村は、養介護施設従事者等による高齢者虐待の通報又は届出を受けたときは、厚生労働省令で定めるところにより、当該通報等に係る養介護施設従事者等による高齢者虐待に関する事項を、都道府県に報告しなければならないこととされています。  
(高齢者虐待防止法第22条)
- (2) また、都道府県は、毎年度、養介護施設従事者等による高齢者虐待の状況、養介護施設従事者等による高齢者虐待があった場合にとった措置その他厚生労働省令で定める事項を公表することとされています。(高齢者虐待防止法第25条)